

令和3年5月 定例記者会見（報告）

1 日 時 令和3年5月24日（月）13時～14時

2 会 場 庁議室

3 出席者

<報道機関>朝日新聞、山形新聞、米澤新聞、読売新聞、毎日新聞、河北新報、
NHK、SAY

<市>市長、秘書広報課長

4 記者倶楽部からの質問事項

(1) 5月に入り、福島県内で確認された新型コロナウイルスの新規感染者数は増加傾向が続いています。福島県に面し、多くの面で結びつきがある米沢市として、現状をどのように受けとめているでしょうか。
こうした状況を踏まえ、今後予定する感染対策や市民へのメッセージがあれば、併せて教えてください。

(2) 熊の出没が米沢市内でも見られるようになりました。
去年市内でもけが人の被害がありましたが、今シーズン熊対策で予定している具体的な施策がありましたら教えてください。

(3) その他

5 内 容

○秘書広報課長

これより令和3年度5月の定例記者会見を開催させていただきます。初めに、市長から発言がございます。

○市長

今月の定例記者会見のご質問は2件ございました。

まず1点目の、最近の福島県内での新型コロナウイルスの新規感染者数が増加しているということで「福島県に面し、多くの面で結びつきがある米沢市として、現状をどのように受けとめているでしょうか。こうした状況を踏まえ、今後予定する感染対策や市民へのメッセージがあれば、併せて教えてください。」ということでもあります。

この点について、福島県の状況は大変危惧しております。国の重点地域にはなってはおりませんが、福島県独自で感染の急激な拡大に歯止めをかけ、医療体制の崩壊を防ぐために福島県新型コロナウイルス感染症非常事態宣言が発令されております。この緊急特別対策は15日から31日までとなっております。まだその期間中であるため、福島県側としては県外への移動については自粛要請をお願いしているようです。しかし、仕事やそのほか観光も含めて、本市は福島県と山形県の玄関口になっているため、人の交流は避けられないものであります。米沢市としましては、感染予防対策をしっかりとっていただきたく、非常に危惧をしております。

そして、「こうした状況を踏まえ、今後予定する感染対策や市民へのメッセージがあれば、併せて教えてください。」ということでもあります。福島も含めまして、近隣の陽性者が多く確認されているため、5月19日に対策本部を開催しました。改めて、今後の感染対策予防、市民の方々への周知について、検討を行いました。もう一度しっかりと感染予防に取り組んでいこうというチラシを広報に折り込んで、全市民にまたお願いをするという対応を取らせていただきたいと思います。

また、近隣の事業所における対応もございます。すでに事業所にも申し入れをさせていただきましたが、心配される、危惧される部分がある場合には、しっかりと感染予防に努めていただきたいと思いますという本市としての意思をお伝えしました。

昨日今日と米沢市から感染者が出ております。そういったこともありますから、感染拡大防止のために市民の皆様には市のホームページ、先ほど申しあげました全戸配布のチラシなどを参考にさせていただいて、もう一度感染予防の徹底をお願いします。

1点目については以上です。

次に2点目「熊の出没が米沢市内でも見られるようになりました。去年市内でもけが人の被害がありました。今シーズン熊対策で予定している具体的な施策がありましたら教えてください。」ということでもあります。令和2年度ですが、市内での総目撃件数は145件でした。平成23年度以降最も多くなっており、今シーズンにおきましても引き続き注意が必要だと思っております。具体的な対策ですが、今は山菜の時期でもあり、山に入られる方が多くいらっしゃるわけであり、行き慣れた山でもクマよけの鈴やラジオを鳴らして歩くか、一人ではなくできる限り二人以上で行動するなど、万全の対策を取っていただきたい。そして、夏から秋にかけて、クマの餌となる取り残しの果実や農作物の撤去をお願いするとともに、屋外に生ごみの放置をしないなど、市民の皆様には周知を徹底したいと思っております。

市街地でのクマ出没を予測することは非常に困難なため、本市としては適切な対応策を講じることができるよう、警察、猟友会、県など関係機関との連携を密にしております。出没時の周辺住民への注意喚起、情報提供の迅速化に努めています。5月20日に開催された「置賜地区クマ被害対策連絡会議」においても関係機関の役割や追い払い、ワナ捕獲、銃器使用等の手順の再確認を行いました。こういったことで、出没にあたって人的被害がないように関係機関との連携を密にしながら取り組んでまいりたいと思っております。

○秘書広報課長

市長からの発言は以上となります。これ以降の進行につきましては幹事社にお渡しをいたしますので、よろしくお願いいたします。

○幹事社

よろしくお願いいたします。先ほど、福島について伺ったところでしたが、この一週間南陽等で非常に数も増えているということで、移動についてなどこれまで以上に強いメッセージというのは何か考えていらっしゃるのか、というのが一点。

6月6日に聖火リレー等も予定されています。県では判断保留となっておりますが、そこに対する市長の思いをお伺いしたいと思います。

○市長

まず近隣市町の件ですが、そういったことは市民の皆様、報道・ニュース等で十分に承知しておられるかと。私がお聞きするところでも、近隣で起きているから我々としても注意をしなければならないということで、新たなチラシについて担当が内容を検討しております。今までにないような、目に留まり注意を喚起する内容にしなければいけないということで、そういった原稿を検討しております。

聖火リレーについて、今朝の庁議でも話が出ました。今のところは予定どおり実施するというようにしております。今のところは上杉神社から市営体育館まで、一人200メートルくらいで、20人くらいでつなぐことになっております。予定どおりには進めていますが、これから県の状況、県の考え方や本市の感染状況によっては変更せざるを得ない部分も出てくる可能性があると考えております。

○記者

南陽でクラスターが発生した直後に、隣り合っている高畠町がいち早く公共施設の利用制限をかけましたが、米沢市ではそういった対応はないのでしょうか。

○市長

公共施設への制限というのは、例えば感染者が出た中学校では学年、学級閉鎖等をやっていますが、本市としてはそういった状況になっていないというのが現状です。

○記者

例えば、市民だけしか利用できないというような制限は今のところないですか。

○市長

それも全く、制限をかけるという状況では今のところありません。

○記者

これはタブーなのか分からないのですが、聞くとあちこちで噂、差別などが、被害まではいかないと思うのですが、出ているという話があるのですが。

○市長

内容的には、どういうことですか。

○記者

コロナの発生で、差別というか。

○市長

米沢で、ですか。

○記者

はい。起きていると聞いているのですが、実際に起きていますか。

○市長

私には報告は上がってきていません。例えば、一昨日の青少年会議で教育長と話したときに、学校現場では誹謗中傷は出ていますかと確認したところ、現在、小中学校では出ていないと。今のところ我々としては、誹謗中傷でこういったことがあった、ということは承知しておりません。

○記者

ならいいのですが。誹謗中傷や差別が怖いという話も出たので。

○市長

言われた方から直接聞いてみないと分からないのですが、当然、誹謗中傷はやめようというキャンペーンもやっているわけです。私の耳には入ってきていないのが現状です。

○記者

南陽や高島のコロナ拡大について、福島の実業所等にも呼びかけをしたということでしたが、南陽や高島にも関連するところがあると思います。福島の比ではないと思いますが、電車通学などでの人的交流への警戒というのはどういう風にお考えですか。

○市長

とにかく、クラスターが持ち込まれないようにという思いでいます。色々お話を聞いていますと、あるゴルフコンペで広がったということも聞いております。米沢の方々が参加しているかどうか確認はしておりませんが、そういったものがクラスターになって家族にも広がっているという状況です。状況を判断しながら、具体的にどういった防止措置がとれるかについてはもどかしい部分もありますが、市民の皆様にも注意喚起を呼びかけるしかないと思っています。先ほども申し上げましたが、多くの県外からの従事者が米沢に寝泊まりをするという状況も出ております。先日も県と連携しまして、米沢の思いは事業所にお問い合わせをしてみました。

○記者

ワクチンのことで、市長ご自身の接種予定を教えてください。

○市長

集団接種か個別接種か色々と考えました。個別の方が本当はやりやすかったのかと思っていますが、市長としての立場で、集団接種でお願いするというので7月3日に第一回の接種を予定しております。

○記者

すこやかセンターで、ですか。

○市長

はい。

○記者

しばらく前に、余ったワクチンを誰に優先して打つのか話題になった時期がありました。市長としてはキャンセル等で余った場合どのように活用すべきとお考えですか。

○市長

すでに米沢市としては、基本的には接種会場近隣の住民の皆様に登録していただいて、速やかに対応するというようにしております。また、スタッフでまだ受けていない方について余剰分が出たら対応するとルールづくりしております。そして、すこやかセンターは西部地区にございますから、地区の方々にも民生委員を通して、無駄にならない接種のルールを決めているのが現状です。

○記者

南陽、高島で集中的に発生していることを受けて、公立置賜病院の病床使用率が高まっています。おそらく市立病院へのコロナ患者の受け入れ依頼が来ているのではないかと思います。それについて市長のお考えや市民へのメッセージがあれば。

○市長

正直に申し上げまして、これは前から申し上げているのですが、市立病院は感染指定病院にもなっていませんし、建て替え準備にも入っているということで病院が非常に慌ただしくなっております。指定病院ではないため、公立置賜病院で極力対応していただくのが、正直な気持ちとしてはありがたいと思っております。公立置賜病院も受け入れ限度がありますが、米沢市立病院の場合は受け入れるにしても軽症者だと思っています。例えば、家庭の中で感染して家庭の中で対応されている方などがお出でになるという話も聞いております。そういった市立病院で対応できる患者の受け入れについては、医療上やむをえないことだと思っています。

○秘書広報課長

これを持ちまして令和3年度5月の定例記者会見を終了させていただきます。ありがとうございました。